

令和 4 年 6 月 10 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2021

課題番号：18K01514

研究課題名（和文）技術変化・革新、所得分配、及び社会的厚生 of 理論分析

研究課題名（英文）Technical Change, Factor Income Distribution, and Social Welfare: Microeconomic Analysis

研究代表者

吉原 直毅 (YOSHIHARA, Naoki)

一橋大学・経済研究所・非常勤研究員

研究者番号：60272770

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000 円

研究成果の概要（和文）：第1に、市場の競争機構のみでは技術革新の成果をパレート改善的な社会的厚生 of 改善へと寄与できない事を論証した。第2に、技術革新の成果導入を巡る資本家間競争がある場合の市場均衡が、利潤率と賃金率の分配の如何なる変化を導くかを包括的に理論分析した。第3に、市場の競争機構それ自体、限界生産力原理に言及する教科書的な説明とは異なり、原理的に所得分配の決定メカニズムとして不完全であり、何らかの政治的な所得分配の関与が不可欠な構造となっている事を論証した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

経済学の伝統において、市場競争の下、分業の発展や新技術の革新などの技術進歩とその成果導入への動機付けによって、生産性の向上と経済成長による社会的厚生 of 改善、という動学的な効率的配分機能についての見解が共有されてきた。この伝統的見解は、今日においても「経済成長」政策が強調され、その支柱の1つとして「技術革新の促進」が語られるように、現代及び将来社会への政策を語る際の基本的思考を方向付けている。こうした伝統的見解の理論的妥当性について、本研究成果は、技術変化・革新と市場的競争機構、及び要素所得分配の関係を経済理論的に分析する事で検証し、本質的な批判を提示している。

研究成果の概要（英文）：First, it shows that the standard view that dynamic market competition with technological innovation could improve everyone's welfare, in the long run, cannot be verified. Second, the effect of capitalist competition in the market economy with technical innovation on the functional distribution between wages and profits is examined in a general equilibrium framework. Third, it shows that the functional distribution between wages and profits under the Walrasian market competition is generically indeterminate.

研究分野：理論経済学・厚生経済学・分析的な政治経済学・数理的マルクス経済学・社会的選択理論・ゲーム理論

キーワード：技術革新と社会的厚生 ヒックスの楽観主義 技術革新と均衡要素所得分配の動学 スラッファ的均衡
非決定性

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

現代経済学における市場経済システムの基礎理論は「厚生経済学の基本定理」のみならず、市場競争の下、分業の発展や新技術の革新などの技術進歩とその成果導入への動機付けによって、生産性の向上と経済成長による社会的厚生改善、という動学的な効率的配分機能についての見解が共有されてきた。この伝統的見解は、今日においても「経済成長」政策が強調され、その支柱の1つとして「技術革新の促進」が語られるように、現代及び将来社会への政策を語る際の基本的思考を方向付けている。

しかし、この伝統的見解は十分な経済理論的基礎づけがあるとは言えない。

2. 研究の目的

技術革新によって経済成長が促進され、社会的厚生改善と富や所得の分配の平等化がもたらされるか否かという論点は、現代経済学においても尚、解明されたとはいえない。この点に関連して、トーマス・ピケッティは、経済成長は必ずしも所得分配を平等化させない事、要素所得分配を市場の競争機構のみで説く限界生産力説では現代の貧富の格差を説明できない事を論じ、リカードやマルクスの視角を生かして、複数の生産部門間での相対価格の変化や労資間の交渉などの政治的分配の制度などの要因も観察可能な枠組みの下で、技術変化とそれに対応する所得と富の分配のメカニズムを解明すべき事を主張している。これらの長らく顧みられなかった論点を現代マイクロ経済理論の手法の下で理論的に解明することによって、従来の教科書的学説の眺望を超える新たな知見を得ることが本研究の目的である。

3. 研究の方法

(1) 市場の競争機構による作用を超えた所得分配の仕組みについての固有の分析の必要性を明晰化すること。第1に、市場の競争機構のみでは技術革新の成果をパレート改善的な社会的厚生改善へと寄与できない事を異時点間資源配分問題の論脈でも確認する。第2に、市場の競争機構を通じて決定される技術革新も、人々の自由な自己発展の機会拡大と、自然環境との持続的共存に寄与するような方向性を担保できず、所得分配の均等化を媒介とする民主的な社会的意思決定の不可欠性を論証する。更に、市場の競争機構それ自体、限界生産力原理に言及する教科書的な説明とは異なり、原理的に所得分配の決定メカニズムとして不完全であり、何らかの政治的な所得分配の関与が不可欠な構造となっていることを論証する。

(2) 本研究は以下の3つの研究から成り、いずれも、研究毎に研究代表者と研究分担者、及び研究協力者との共同研究として遂行する。

第1研究：異時点間資源配分問題における資源配分メカニズムの公理的特徴づけ

第2研究：技術革新と資本蓄積・要素所得分配の動学的一般均衡分析

第3研究：完全競争均衡の要素所得分配に関する非決定性(indeterminacy)問題の考察

【平成30年度】

第1研究では、Moulin and Roemer (1986), Roemer (1984), Moulin (1990), Fleurbaey and Maniquet (1999), 及びYoshihara (2003)などの先行研究で提示された基本的公理群を、動学的異時点間資源配分問題の論脈で再構成し、新たにこの論脈で妥当な公理を定式化する。特に、先行研究が協同生産経済での資源配分問題や交渉問題などの解に対する公理群として提示しているのに対して、市場経済システムをも一例として含む経済システムの性質に関する公理としての定式化を行い、分析すべき課題を数理的に設定する。

第2研究では、技術革新によって技術選択集合が可変的となる様な、より一般化された動学的一般均衡の枠組みで、技術革新の成果導入を巡る資本家間競争がある場合の均衡経路を、資本

蓄積や要素所得分配の観点から特徴づける。全経済主体が資本蓄積の最大化を目的とする選好構造を持っている場合についての研究を完成させ、論文として纏め上げる。

第3研究は、要素所得分配に関する非決定性問題に関する先行研究全般をレビューする作業を研究代表者が中心に行い、出発点とすべき先行研究である Mandler (1999)の分析——正常経済の下では、定常均衡下の要素所得分配の非決定性はジェネリックな性質ではない事を論証——の妥当性について検証を行う。これらのレビュー作業を踏まえ、長期定常均衡の条件の適切な再定式化の提示と、分析すべき課題の定式化を行う。

【平成31年度以降】

第1研究は、設定した問題枠組みの下での公理的分析を集中的に行い、分析結果を定理として纏めていく。また、その定理の含意を研究討議中心に練り上げ、市場経済システムの動学的観点からの意義付けに結び付けていく。

第2研究は、平成30年度に実施した第1段階の研究結果を纏めた論文を、公刊可能な水準へと磨き上げていく。国際会議やワークショップなどで研究報告を行い、有益なフィードバックを得て、経済学界一般にアピールするような水準の論文に仕上げていく。

第3研究は、平成30年度の時点で確定した研究課題に即しての理論的分析作業を推進する。研究代表者は、それぞれの進行状況を踏まえて、適時更なる分析作業の方向性に関する指示を研究分担者に与え、最終的な論文へと仕上げていく。

4. 研究成果

(1) 第1研究「異時点間資源配分問題における資源配分メカニズムの公理的特徴づけ」については、その成果の1つを『Does Dynamic Market Competition with Technological Innovation Leave No One Behind?: An axiomatic study in both deterministic and stochastic frameworks』として完成させた。技術革新によって社会全体で利用可能な生産可能性集合が時間と共に拡張する動学経路の下での資源配分メカニズムの性能を公理的に分析する。この論脈における厚生経済学の伝統的なヴィジョンであった「ヒックスの楽観主義」を1つの公理として定式化し、市場の完全競争メカニズムが「ヒックスの楽観主義」を満たすか否かが主要な関心であった。ここで、決定論的な枠組みでの資源配分メカニズムであろうと、あるいは1つの確率分布を賦与する資源配分メカニズムであるかに関わりなく、パレート効率的で個人合理的な如何なる配分メカニズムであって、「ヒックスの楽観主義」を満たすものは存在しないという一般不可能性定理を導いた。この不可能性定理は、技術革新の便益に関する市場経済への楽観視への警告という含意を持つ。

また、付随的成果として論文『Minimal autonomy and increasing returns to scale: a dilemma』を完成させた。現代経済のデジタル化の下で、リベラリズムの価値が維持され得るか否かが問われる状況にある。デジタル経済においては、「規模の経済」(=生産技術の収穫逓増性)の存在が本質的な特徴を有するが、この論文では、社会全体で利用可能な生産可能性集合が収穫逓増な性質を有する様な経済環境下での資源配分メカニズムが、果たして経済的自由主義の原理を維持し得るか否かを、公理的に分析している。経済的自由主義に関する最小限の条件として、すべての個人の自律的な生の尊厳を保証するような最小限の初期賦存を設定する「最小限の自律性」という公理を定式化した。また、この公理を満たす資源配分メカニズムは、収穫逓増的な経済環境の下では、一般に存在しない事を示した。この不可能性定理は、デジタル経済下で問題視されるようになっている「勝者の総取り」的資源配分状況には確かな理論的根拠がある事を示唆するものである。

(2) 第2研究「技術革新と資本蓄積・要素所得分配の動学的一般均衡分析」に関しては、技術革新によって技術選択集合が可変的となる動学的一般均衡の枠組みで、技術革新の成果導入を巡る資本家間競争がある場合の異時点間均衡移行についての理論分析をまとめた論文『Technical Change, Capital Accumulation, and Distribution』を完成させた。本論文では、技術革新の成果導入を巡る資本家間競争がもたらす均衡移行に関して、複数の生産部門間での相対価格の変化や労資間の交渉などの政治的分配の制度などの要因も観察可能な枠組みの下で、技術変化とそれに対応する所得と富の分配のメカニズムを理論的に解明している。主流のマクロ内生的経済成長論でも技術革新と所得分配の動学については関心が寄せられてきたが、本論文ではかつてアトキンソン＝スティグリッツが提起していた「局所的な技術革新」がもたらす競争的資源配分のメカニズムを明示的に理論分析している。また、技術革新と所得分配の均衡動学については、数理マルクス経済学における「置塩定理」等の研究成果が知られているが、本論文はそれらの既存研究とも異なり、生産要素市場における需給条件も明示的に考察するより包括的な一般均衡分析を行っている。結果的に、労働生産性が向上し、資本収益性が改善するような均衡移動のケースのみならず、技術革新の成果導入後の均衡利潤率が低下するという「資本家間四人のディレンマ」的状況も存在し得る事を指摘するなど、従来の知見を超える、豊かな知見が新たに得られた。

(3) 第3研究「完全競争均衡の要素所得分配に関する非決定性(indeterminacy)問題の考察」に関しては、Mandler (1999)の分析——正常経済の下では、定常均衡下の要素所得分配の非決定性はジェネリックな性質ではない事を論証——の妥当性について検証し、むしろ定常均衡下の要素所得分配の非決定性がジェネリックな性質を有する事を論証する論文を完成させた。また、このスラッファ的均衡非決定性は、従来の文献における均衡非決定性の場合と異なり、初期賦存の非決定性や貨幣の存在などの要因によって説明されるものではなく、むしろ経済モデルにおける資本概念の定式の仕方に関する新古典派と古典派・マルクス派の論争問題に関わってくる事を明らかにした。また、関連して、前産業社会期の世界経済における国内経済並びに国際貿易の異時点間競争均衡における要素所得分配の非決定性に関する研究を行い、それぞれディスカッション・ペーパーとして完成させた。

以上の研究成果は、いずれも現在、学術誌に投稿・審査の過程にある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計44件（うち査読付論文 36件 / うち国際共著 21件 / うちオープンアクセス 37件）

1. 著者名 N. Yoshihara, J. Cogliano and R. Veneziani	4. 巻 -
2. 論文標題 Putting Labour Values to Work	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Oeconomica	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Xu Yongsheng, Yoshihara Naoki	4. 巻 73
2. 論文標題 Bargaining theory over opportunity assignments and the egalitarian solution	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Metroeconomica	6. 最初と最後の頁 198 ~ 219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/meca.12359	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Naoki Yoshihara and Roberto Veneziani	4. 巻 -
2. 論文標題 Unequal exchange and international justice	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Exploitation: Politics, Philosophy, and Economics, eds. by Matt Zwolinsky and Ben Ferguson	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Cogliano Jonathan F., Veneziani Roberto, Yoshihara Naoki	4. 巻 -
2. 論文標題 An Agent-Based Approach to Classical Competitive Prices	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Zining Yang and Elizabeth von Brisen (eds.) Proceedings of the 2021 Conference of The Computational Social Science Society of the Americas, Springer	6. 最初と最後の頁 152 ~ 163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-96188-6_11	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Cogliano Jonathan F., Kaneko Soh, Veneziani Roberto, Yoshihara Naoki	4. 巻 -
2. 論文標題 International Exploitation, Capital Export, and Unequal Exchange	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Oxford Handbook of Economic Imperialism, eds. by Zak Cope and Immanuel Ness	6. 最初と最後の頁 230 ~ 250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/oxfordhb/9780197527085.013.10	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Cogliano Jonathan F., Veneziani Roberto, Yoshihara Naoki	4. 巻 36
2. 論文標題 Computational methods and classical Marxian economics	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Economic Surveys	6. 最初と最後の頁 310 ~ 349
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joes.12459	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshihara Naoki	4. 巻 47
2. 論文標題 On the labor theory of value as the basis for the analysis of economic inequality in the capitalist economy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Japanese Political Economy	6. 最初と最後の頁 190 ~ 212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/2329194X.2021.1952081	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naoki Yoshihara and R. Veneziani	4. 巻 -
2. 論文標題 Comment: The falling rate of profit and general equilibrium: some methodological considerations	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 A. Sinha, (ed.), A Reflection on Sraffa's Revolution in Economic Theory, London, Palgrave Macmillan	6. 最初と最後の頁 313-322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Timilsina Raja R., Kotani Koji, Nakagawa Yoshinori, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Intragenerational deliberation and intergenerational sustainability dilemma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Journal of Political Economy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejpolco.2021.102131	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiromitsu Toshiaki, Kitakaji Yoko, Hara Keishiro, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 13
2. 論文標題 What Do People Say When They Become “Future People”? Positioning Imaginary Future Generations (IFGs) in General Rules for Good Decision-Making	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su13126631	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤玲子・岡田章	4. 巻 72-2
2. 論文標題 ゲーム理論と社会的選択理論の接点 規範経済学の方法論的省察	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 一橋大学経済研究所編『経済研究』	6. 最初と最後の頁 169-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Xu Yongsheng, Yoshihara Naoki	4. 巻 37
2. 論文標題 Nonconvex Bargaining Problems: Some Recent Developments	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Homo Oeconomicus	6. 最初と最後の頁 7~41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41412-020-00098-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshihara Naoki and Lombardi Michele	4. 巻 70-3
2. 論文標題 Partially-honest Nash implementation: a full characterization	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Economic Theory	6. 最初と最後の頁 871 ~ 904
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00199-019-01233-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 吉原直毅	4. 巻 57-2
2. 論文標題 定常循環レジーム下の経済システム論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊経済理論	6. 最初と最後の頁 19-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉原直毅	4. 巻 1156
2. 論文標題 思想の言葉 「非物質的」資本主義とは?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『思想 (【特集】資本主義の未来)』岩波書店 (図書所収論文)	6. 最初と最後の頁 2-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakagawa Yoshinori, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 A visual narrative for taking future generations' perspectives	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainability Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-00916-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hara Keishiro, Kitakaji Yoko, Sugino Hiroaki, Yoshioka Ritsuji, Takeda Hiroyuki, Hizen Yoichi, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Effects of experiencing the role of imaginary future generations in decision-making: a case study of participatory deliberation in a Japanese town	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainability Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11625-021-00918-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Pandit Arpana, Nakagawa Yoshinori, Timilsina Raja Rajendra, Kotani Koji, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 27
2. 論文標題 Taking the perspectives of future generations as an effective method for achieving sustainable waste management	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sustainable Production and Consumption	6. 最初と最後の頁 1526 ~ 1536
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.spc.2021.03.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakagawa Yoshinori, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 124
2. 論文標題 Can individuals caring little about future generations serve as their representatives?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Futures	6. 最初と最後の頁 102626(1)-(11)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.futures.2020.102626	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shahen Mostafa E., Masaya Wada, Kotani Koji, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 12-17
2. 論文標題 Motivational Factors in Intergenerational Sustainability Dilemma: A Post-Interview Analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 7078(1)-(16)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12177078	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakagawa Yoshinori, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 12-18
2. 論文標題 Future Design as a Metacognitive Intervention for Presentism	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 7552(1)-(11)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12187552	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Timilsina Raja R, Kotani Koji, Nakagawa Yoshinori, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 90
2. 論文標題 Concerns for future generations in societies: A deliberative analysis of the intergenerational sustainability dilemma	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Behavioral and Experimental Economics	6. 最初と最後の頁 101628(1)-(12)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.socec.2020.101628	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jingchao Zhang, Kotani Koji, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Are societies becoming proself? A topographical difference under fast urbanization in China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Environment, Development and Sustainability	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10668-020-01195-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 12-16
2. 論文標題 Future Design: Bequeathing Sustainable Natural Environments and Sustainable Societies to Future Generations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 6467(1)-(21)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12166467	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hernuryadin Yayan, Kotani Koji, Saijo Tatsuyoshi	4. 巻 96
2. 論文標題 Time Preferences of Food Producers: Does “ Cultivate and Grow ” Matter?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Land Economics	6. 最初と最後の頁 132 ~ 148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3368/le.96.1.132	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 後藤玲子・神林 龍・小林秀行	4. 巻 71-3
2. 論文標題 外出・在宅活動へのケイバリティ・アプローチの応用の試み - - 『A市高齢者・しょうがいしゃの外出に関する調査』より - -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経済研究	6. 最初と最後の頁 209-236
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Cogliano Jonathan F., Veneziani Roberto, Yoshihara Naoki	4. 巻 77-2
2. 論文標題 Exploitation, skills, and inequality	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Review of Social Economy	6. 最初と最後の頁 208 ~ 249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00346764.2019.1596296	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kurose Kazuhiro, Yoshihara Naoki	4. 巻 51
2. 論文標題 On the Ricardian invariable measure of value in general convex economies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Structural Change and Economic Dynamics	6. 最初と最後の頁 539 ~ 549
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.strueco.2018.10.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Xu Yongsheng, Yoshihara Naoki	4. 巻 48
2. 論文標題 An equitable Nash solution to nonconvex bargaining problems	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Game Theory	6. 最初と最後の頁 769 ~ 779
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00182-019-00658-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Galanis Giorgos, Veneziani Roberto, Yoshihara Naoki	4. 巻 100
2. 論文標題 The dynamics of inequalities and unequal exchange of labor in intertemporal linear economies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Economic Dynamics and Control	6. 最初と最後の頁 29 ~ 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jedc.2018.12.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshihara Naoki, Yamada Akira	4. 巻 53
2. 論文標題 Nash implementation in production economies with unequal skills: a characterization	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Social Choice and Welfare	6. 最初と最後の頁 113 ~ 134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00355-019-01174-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuyoshi Saijo	4. 巻 -
2. 論文標題 Second Thoughts of Social Dilemma in Mechanism Design	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Walter Trockel ed., Social Design: Essays in Memory of Leonid Hurwicz, Springer Nature	6. 最初と最後の頁 157-171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤玲子	4. 巻 下巻
2. 論文標題 人間の尊厳と人文社会科学の挑戦 原爆被害者「生活史調査」を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 加藤泰史・小島毅編『尊厳と社会』法政大学出版局 所収	6. 最初と最後の頁 3-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤玲子	4. 巻 6
2. 論文標題 アメリカのデモクラシーと社会福祉	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 後藤玲子・新川敏光編『新・世界の社会福祉』旬報社 所収	6. 最初と最後の頁 26-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤玲子	4. 巻 70-3
2. 論文標題 われわれは福祉国家の「現実的ユートピア」を描けるだろうか 原爆被害者運動を手がかりとした日米比較分析の視座	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済研究	6. 最初と最後の頁 227-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤玲子	4. 巻 70-3
2. 論文標題 小特集：何(誰)のための社会進歩か? 福祉国家の再構築 序文	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済研究	6. 最初と最後の頁 225-226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤玲子	4. 巻 上
2. 論文標題 ワーク・ライフ・バランスと公共的相互性 二元論的視座をとることの意味	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大曾根寛・森田慎二朗・金川めぐみ・小西啓文編『福祉社会へのアプローチ 久塚純一先生古希祝賀』	6. 最初と最後の頁 553-570
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Galanis Giorgos, Veneziani Roberto and Yoshihara Naoki	4. 巻 100
2. 論文標題 The dynamics of inequalities and unequal exchange of labor in intertemporal linear economies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Economic Dynamics and Control	6. 最初と最後の頁 29-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jedc.2018.12.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Gotoh Reiko and Yoshihara Naoki	4. 巻 76
2. 論文標題 Securing basic well-being for all	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Review of Social Economy	6. 最初と最後の頁 422-452
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00346764.2018.1529331	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshihara Naoki and Veneziani Roberto	4. 巻 34
2. 論文標題 The theory of exploitation as the unequal exchange of labour	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Economics and Philosophy	6. 最初と最後の頁 381-409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S0266267118000238	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Lombardi M. and Yoshihara Naoki	4. 巻 111
2. 論文標題 Treading a fine line: (Im)possibilities for Nash implementation with partially-honest individuals	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Games and Economic Behavior	6. 最初と最後の頁 203-216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.geb.2018.03.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Saijo Tatsuyoshi, Masuda Takehito and Yamakawa Takafumi	4. 巻 51
2. 論文標題 Approval mechanism to solve prisoner's dilemma: comparison with Varian's compensation mechanism	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Social Choice and Welfare	6. 最初と最後の頁 65-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00355-017-1107-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤 玲子	4. 巻 1140
2. 論文標題 <公共的相互性>の論理とかたち	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 思想、岩波書店 (図書所収)	6. 最初と最後の頁 82-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤 玲子	4. 巻 1140
2. 論文標題 思想の言葉	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 思想、岩波書店 (図書所収)	6. 最初と最後の頁 2-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件（うち招待講演 6件 / うち国際学会 18件）

1. 発表者名 Yongsheng Xu and Naoki Yoshihara
2. 発表標題 Does Dynamic Market Competition with Technological Innovation Leave No One Behind?
3. 学会等名 Mathematical Economics 2021 Workshop, Kanto Gakuin University, Yokohama, Japan (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yongsheng Xu and Naoki Yoshihara
2. 発表標題 Does Dynamic Market Competition with Technological Innovation Leave No One Behind?
3. 学会等名 Games 2021, World Congress of Game Theory Society, Hungary (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉原 直毅
2. 発表標題 現代資本制経済の理論構築に向けて
3. 学会等名 第6回・経済動学セミナー（京都大学大学院経済学研究科公認セミナー）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Saijo Tatsuyoshi
2. 発表標題 Future Design: Bequeathing Sustainable Natural Environments and Sustainable Societies to Future Generations
3. 学会等名 Annual Conference of Taiwan Environmental and Resource Economics (2020) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Naoki Yoshihara
2. 発表標題 Technical Progress, Capital Accumulation, and Distribution
3. 学会等名 Kyoto University Faculty of Economics The 100th Year Anniversary International Conference Series "Economic Growth and Income Distribution: Facing Real Economy Beyond Schools (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoki Yoshihara
2. 発表標題 Sraffian Indeterminacy in General Equilibrium Revisited
3. 学会等名 2019 Asian Meeting of Econometric Society (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Reiko Gotoh
2. 発表標題 Social Progress? In search of ethics and economics for advanced technological age
3. 学会等名 Conference on Individual Beings, Societies and States, SGH Warsaw School of Economics, Warsaw (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 後藤玲子
2. 発表標題 大河ロマンとしての経済学 塩野谷祐一の大いなるチャレンジ
3. 学会等名 シンポジウム「経済哲学とは何であるのか?」, 東京大学 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 後藤玲子・神林龍
2. 発表標題 外に出る／家でくつろぐ‘2018ケイパビリティ調査’が写した国立
3. 学会等名 この先の福祉交通について考えるシンポジウム、国立市（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Reiko Gotoh
2. 発表標題 Publicness and Democracy
3. 学会等名 2019 Human Development and Capability Association Conference, London（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Reiko Gotoh
2. 発表標題 Formulation of Public Reciprocity as a ‘Realistic Utopia’
3. 学会等名 Asian Conference on the Philosophy of the Social Sciences, Nankai University, Tianjin（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoki Yoshihara
2. 発表標題 The measurement of labor content: a general approach
3. 学会等名 2019 PPE Society Meeting（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naoki Yoshihara
2. 発表標題 On the General Impossibility of Persistent Uniquel Exchange Free Trade Equilibria in the Pre-industrial World Economy
3. 学会等名 Workshop on Positive Theories of Democracy, Market, and Justice (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naoki Yoshihara
2. 発表標題 The measurement of labour content: a general approach
3. 学会等名 The 14th Meeting of the Society for Social Choice and Welfare (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tatsuyoshi Saijo
2. 発表標題 Future Design
3. 学会等名 HKUST Workshop on Experimental Economics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 後藤 玲子
2. 発表標題 社会科学の殿堂 -- 一橋大学改革論 --
3. 学会等名 2018年度第6回一橋大学政策フォーラム「人文学・社会科学におけるインパクトとは何か？」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Reiko Gotoh
2. 発表標題 Can we draw a 'realistic utopia' toward publicly reciprocal welfare state?
3. 学会等名 International Conference of "Social Progress for What (Whom)--Reconstruction of the Welfare State" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Reiko Gotoh
2. 発表標題 What's Missing in Economics: Philosophical Perspectives on the Future of the Economy
3. 学会等名 Hitotsubashi University International Seminars, Philosophy Conference for Shigoto (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Reiko Gotoh
2. 発表標題 State compensation for atomic bomb sufferers and call for the total abolishment of nuclear weapons
3. 学会等名 The 3rd World Social Science Forum (WSSF) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Reiko Gotoh and Hideyuki Kobayashi
2. 発表標題 Independence in daily living of individuals --Formulation with positional objectivity and empirical analysis
3. 学会等名 2018 Cambridge Capability Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Reiko Gotoh
2. 発表標題 The non-identity problem and the social choice procedure --Revisit to the intergenerational equity--
3. 学会等名 The 14th Social Choice and Welfare Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Reiko Gotoh
2. 発表標題 Can we draw a 'realistic utopia' toward publicly reciprocal welfare state? --A comparison of welfare programs between Japan and USA--
3. 学会等名 International Conference on Ambivalences of the Rising Welfare Service State --Hopes and Hazards of Fundamentally Realigning the Architecture of Welfare Modernity (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 西條 辰義、宮田 晃碩、松葉 類	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 フューチャー・デザインと哲学：世代を超えた対話 = Future design x philosophy	

1. 著者名 加藤泰史・後藤玲子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 法政大学出版局	5. 総ページ数 494
3. 書名 尊厳と生存	

1. 著者名 宇佐見耕一、小谷眞男、後藤玲子、原島博、岡伸一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 416
3. 書名 世界の社会福祉年鑑2021 (2022年度版)	

1. 著者名 Saijo, Tatsuyoshi	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 230
3. 書名 Future Design : Incorporating Preferences of Future Generations for Sustainability	

1. 著者名 森川正之・小林慶一郎・奴田原健悟・鶴光太郎・八田達夫・佐藤主光・小黒一正・戸堂康之・山下一仁・ 楡井誠・西條辰義他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日経BP 日本経済新聞出版本部	5. 総ページ数 384
3. 書名 コロナ危機の経済学	

1. 著者名 Gotoh, R.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 258
3. 書名 The Ethics and Economics of the Capability Approach	

1. 著者名 新村聡、田上孝一編、石野敬太・吉田修馬・新村聡・網谷壮介・小沢佳史・中村宗之・山崎聡・平井俊 顕・魚躬正明・後藤玲子他著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 社会評論社	5. 総ページ数 392
3. 書名 平等の哲学入門	

1. 著者名 宇佐見耕一・岡伸一・金子光一・小谷眞男・後藤玲子・原島博編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 444
3. 書名 世界の社会福祉年鑑2020	

1. 著者名 吉原 直毅	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 124
3. 書名 されどマルクス	

1. 著者名 (宇佐見 耕一・岡 伸一・金子 光一・小谷 眞男・後藤 玲子・原島 博編)米田 裕香、東田 全央、徳永 景子、宮下 明子、福地 健太郎、高橋 洋平、中井 裕真、石川 美絵子、大場 亜衣、榎本 裕子、下澤 嶽、盛上 真美、白村 直也、磯邊 厚子、アルタン・ボリグ、新木 秀和、小松 豊明、中島 早苗、富川 功 喬	4. 発行年 2018年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 380
3. 書名 世界の社会福祉年鑑 2018「特集 国際ソーシャルワークと社会福祉」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	西條 辰義 (Saijo Tatsuyosi) (20205628)	高知工科大学・経済・マネジメント学群・特任教授 (26402)	
研究 分 担 者	後藤 玲子 (Gotoh Reiko) (70272771)	帝京大学・経済学部・教授 (32643)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関